

要小だより

平成27年10月1日

行方市立要小学校

第20号

校長：高崎 啓子

4年生が行方市環境美化センターで学んで来ました。(9/29)



普段校内で学習している子ども達にとって校外学習は学びであると共に、学校の外で学ぶという別の楽しみでもあるようです。

1年間の間には、どの学年も複数回の校外学習を経験することになるので、出発の際にはしっかりした学習の目当てをもって出かけるように話しています。今回4年生は、行方市環境美化センターにおいて、実際にゴミが処理されている様子を興味深く見学してきたようです。また、何気なく「ゴミ」としている廃材を再利用してエコバックを作成し、再活用の意識が高まったようです。

1年生が初めて「外国語活動」を体験しました。(9/30)

現在5、6年生が週に1回学習している「外国語活動」ですが、2学期からは1、2年生も体験します。

ALTのジン先生とは、休み時間に遊んだりして、ほとんどの子が名前を知っていたので、スムーズに学習に入ることが出来ました。

色の名前や食べ物の名前などを、元気に発音している様子はとても楽しそうでした。小さい頃にネイティブに親しむことが、現在の英語教育の課題となっていますが、小学校では楽しみながら学ぶ環境をしっかりと作っていく必要があると考えています。



9月の「みんなで作ろう」は運動会への意気込みを書いたおにぎりを集めました。おにぎりの中には、一人一人の運動会にかける思いが書かれています。どんなことが書かれているか見ることは出来ませんが、みんなの願いが通じて素晴らしい運動会になりました。

運動会の目当てを書いた「みんなで作ろう」を紹介します。

